

投資入門

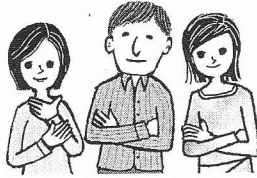
為替相場の先行きを読む

長期投資に役立つデータは?

「購買力平価」が参考に

外国為替相場が1ドル90円前半と円高水準で推移しています。夫は「今後、円安に反転するのを待たねば、外貨投資を始めるチャンスかも……」と思いついていますが、いまひとつ自信が持てません。長期的な為替の動きについて、夫婦で教授に解説してもらおうとしました。

対ドル、円高に余地



と、投機的な資金に翻弄(ほんごう)されて予測は太変困難です。しかし、「長期的には『購買力平価』が非常に参考になる」(龍谷大学の竹中正治教授、ことを覚えておこうといっています)。

妻 為替の予測ってプロでも難しいって聞きます。教授 確かに短期的には

夫 何ですかそれ? 教授 為替相場は2つの国の通貨の購買力(モノ)を比べる価値が同じになるように決まるという考え方です。例えば、ハンバーガーが米国では1ドル、日本では100円で

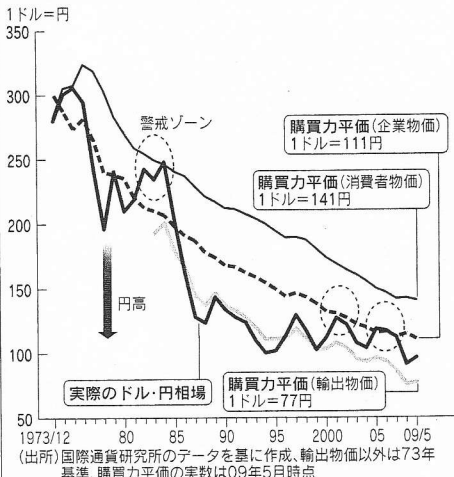
教授 一口に物価と言っても、日用品の店頭価格を示す消費者物価、輸出品に多い品目をまとめた輸出物価など様々です。グラフAでわかるように、実際のドル・円相場は、国際間の価格調整が起

教授 メディアに登場する為替ディラーは短期から数ヶ月程度の相場を見通すが仕事の中核。だから彼らのコメントでは長期の材料である購買力平価はほとんど触れられません。真壁さんも竹中さん、かつては銀行員で為替ディラーなどとして活躍していた方ですが、当人も

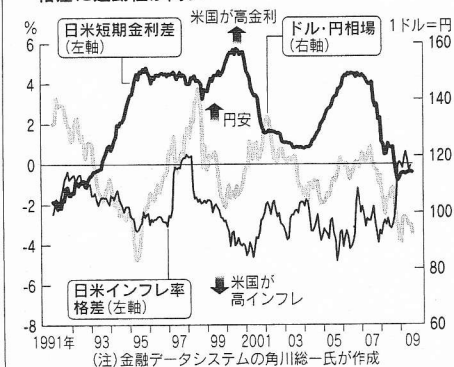
教授 現在も新銀の高金利を売りにした債券が多く売られています。投資信託でも「通貨選別型」といって、例えば高金利の新銀国債に受け取り通貨をスワップさせて金と金に上乗せする仕組みの商品がブーム。でもほとんどは高金利の有利さのみを強調して、「高金利・高インフレ」通貨下落の恐れ、というリスクを説明していないのが残念な現状です。

高金利通貨、下落も 教授 為替相場は2つの国の通貨の購買力(モノ)を比べる価値が同じになるように決まるという考え方です。例えば、ハンバーガーが米国では1ドル、日本では100円で

A. ドル・円相場は購買力平価の「企業物価」と「輸出物価」の間で推移



B. 長期的にみると、為替は金利差よりもインフレ率格差に連動性が高い



C. 米ドル、中国人民元、ユーロ、ポンド、豪ドルなど15通貨を対象に円相場を総合的に(実効為替レート)でみて物価との関連性がわかる



教授 為替相場は2つの国の通貨の購買力(モノ)を比べる価値が同じになるように決まるという考え方です。例えば、ハンバーガーが米国では1ドル、日本では100円で

教授 現在も新銀の高金利を売りにした債券が多く売られています。投資信託でも「通貨選別型」といって、例えば高金利の新銀国債に受け取り通貨をスワップさせて金と金に上乗せする仕組みの商品がブーム。でもほとんどは高金利の有利さのみを強調して、「高金利・高インフレ」通貨下落の恐れ、というリスクを説明していないのが残念な現状です。

VIEW POINT
立正大学経済学部教授 林 康史
近時、世界の取引所で株式会
社が進んでいるのが、戦
略的提携の実現などが可能にな
る。

QUICK調べ

年	純資産(億円)	純利益(億円)
2008	40.8	17.7
2007	41.7	17.7
2006	41.0	17.7
2005	42.5	17.7
2004	44.4	17.7
2003	45.2	17.7
2002	45.2	17.7
2001	45.2	17.7
2000	45.2	17.7
1999	45.2	17.7
1998	45.2	17.7
1997	45.2	17.7
1996	45.2	17.7
1995	45.2	17.7
1994	45.2	17.7
1993	45.2	17.7
1992	45.2	17.7
1991	45.2	17.7

BASIC
株式や投資信託などの相場変動リスクを測る「度」に「標準偏差」というものがあると聞きました。どのくらいですか?

手軽に
ネットの投資情報
電子版「日経会社情報」
日経ウェリタス
マーケットonline
http://nvmol.nikkei.co.jp/